東京都臨床工学技士会　災害対策委員会　活動報告

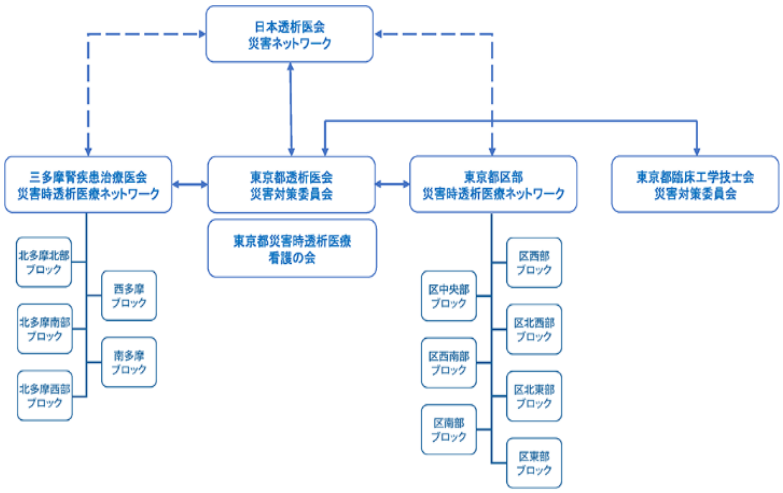
＜活動目的＞

1、 災害時に備えて日頃より、顔の見える関係で共助し合える環境づくり。
2、 東京都の透析施設を対象に訓練を実施し、災害時の対応を習得する。

＜活動内容＞

1、 東京都透析医会・東京都区部災害時透析医療ネットワーク・三多摩腎疾患治療医会との連携。

2018 年より東京都透析医会が発足し、東京都に存在する情報ネットワークの連携が強化されました。
東京都臨床工学技士会災害対策委員会もその一角を担う役割として日々、情報収集および情報共有を行っております。また、東京都透析医会を中心とした第 1 回災害対策セミナーを 2018 年 9 月 2 日に第 2 回を 2019 年 9 月 8 日に実施しました。第 1 回・2 回ともに 300 名程度の参加がありました。

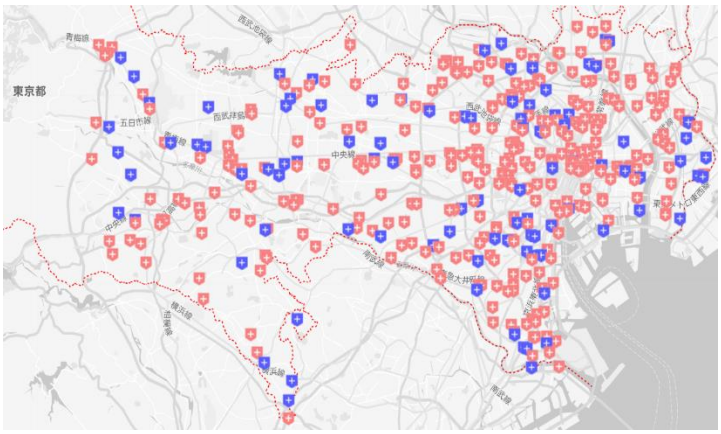


2、 関東臨床工学技士協議会災害情報伝達訓練の実施。

2016 年より千葉県・茨城県・埼玉県・群馬県・栃木県・神奈川県・東京都の 1 都 6 県で災害時情報伝達訓練を実施しています。
2019 年 4 月 24 日・25 日に実施された訓練の際には、東京都の透析施設(434 施設)に参加のご依頼をさせていただきました。その結果、2018 年では 140 施設の参加であったのに対して、2019 年では 198 施設の参加をいただきました。参加率としては、45.6%と昨年度よりも 13.3%上昇しました。

3、 Tokyo DIEMAS 登録率の向上活動。

2018 年 12 月 25 日より Tokyo DIEMAS の運用が開始されました。Tokyo DIEMA ですが、Google MAP を用いて東京都の透析施設を地図上にマッピングを行い、平時の際、災害時に近隣施設の状況を可視化することができるシステムになっています。現在では、東京都 7 割以上の施設が登録していただいています。



4、 台風被害に対する対応。

2019 年に発生した台風 15 号および 19 号による被害への対応を行っています。東京都内の台風による被害がないか Tokyo DIEMA を用いて情報収集を行いました。その後、被害の甚大であった千葉県に連絡をとり、情報共有をさせてただいております。